

八幡工高新聞

発行者：滋賀県立
八幡工業高校
新聞部

修学旅行号

2日目

世界遺産！！ 軍艦島を訪ねて&長崎市内観光



↓船から見た軍艦島

ホテルを出発し、バスは長崎市内へ。

軍艦島行きの船へ乗車し揺られること40分、無事に到着した。この場所は1810年頃石炭が発見されエネルギーが石炭から石油に移った1974年頃まで採炭が行われていた。

また、1916年には、採炭量増加による人口増加に伴い、日本初の鉄筋コンクリート造の集合住宅も建設された。建物は倒壊が進んでる場所が多く、あまり近くまでは行けなかったが、いかにも廃墟といった雰囲気漂っていた。しかし、歴史の一部を見たようでとても興味深かった。

その後は長崎市内を観光。記者(藤)はせっかく長崎に来たのでと中華街でちゃんぽんを頂いた。近江ちゃんぽんとは異なり、濃い鶏ガラのような味のスープだった。カステラの老舗“文明堂総本店”や眼鏡橋、市内商店街を周り4時間の観光をした。バスに乗車、上へ上へと上がり、宿泊地(稲佐山観光ホテル)に到着。

食事を終え、夜9時頃屋上に上がってみると、長崎の夜景がきれいに見えていた。流石は「百万石の夜景」である。



↑当時、採掘作業員の方が住んでおられたアパート



↑ホテルからの長崎市内夜景

3日目

自然体験 阿蘇で非日常を楽しむ

ホテルを出発し、雲仙の麓の港から熊本・阿蘇まで船で移動。各自、事前に選んだ体験を実施した。ちなみに記者(藤)はスポーツカイト(凼のようなもの)とディスク(フリスビー)ゴルフを体験した。最初はディスクゴルフを体験！！思ったようにディスクが飛ばず反対方向に飛ぶこともしばしばあった記者(藤)は平均7回ほどでゴールのボックスに入れることが出来たが中には13回やっても入らない人もいた。カイトの操作は難しく上げてても直ぐに落ちてしまった。

記者(蔀)と(桑)はアルティメットを体験。凄そうな競技名だが内容はフリスビーを使ったスポーツ競技である。ラグビーのような大戦形式で、講師の方はアスリートとして活躍しており、その技を見せてくれた。そのときには大きな歓声が上がった。



カイトを上げている様子
左上に移るものがカイト

4日目

最終日!! 阿蘇を離れ博多へ

ホテルを出発し、阿蘇山の麓辺りまで行った。草原が広がり全身で緑を感じられる場所だった。周辺には馬の放牧も行われており3日目の体験で乗馬を選択した人はここにきたのだろう。しかし、近くに馬刺しの店があるのは何とも言えない、ちょっとシュールな様子だった。滞在時間は30分ほどと決して長い時間ではなかったが、改めて自然の良さを知った30分であった。その後は博多まで戻

るためバスに揺られること約2時間。博多はねや総本家にて旅最後の昼食を頂いた。

14:03発の新幹線に乗り京都駅にて解散。中には“最後の”意味合いで京都で夕食を済ませた人もいたようだ。

長いようで短かった修学旅行はこうして幕を閉じた。訪れる機会の少ない場所だからこそその体験が各自できたのではないだろうか。恐らくこの人数で、このメンバーで行くのは最初で最後だろう。それこそが“Forever memories”として記憶に残るだろう。



←草千里にて



↑旅最後の昼食。かなり豪華だった。
博多・はねや総本家にて